

料金別納
郵便

ゆうメール

梅光

題字は初代学院長 広津 藤吉先生



第1号



Contents

- P. 2 2023年度 第1回「会員の集い」ご報告
P. 6 みことば 松隈 協
P. 7 ご挨拶 片山 宣子
平良 美代
梶間眞壽美
濱谷 静枝
P. 8 恩師は現在^{いま}
P. 9 卒業生の近況 ～梅光の思い出～
P.10 2022～2023年度 社員総会報告
P.11 2022年度 会計報告
P.12 社員募集！
P.13 梅光メモリアルデー 小松 理之
P.14 2023年度 運営費寄付者
P.16 2024年度 第2回「会員の集い」ご案内



一般社団法人 梅光学院同窓会
〒750-8511 下関市向洋町 1-1-1
TEL:083-227-1111 Email:info@baiko.net

一般社団法人梅光学院同窓会 第1回「会員の集い」が開催されました

2023年6月17日(土)午後1時より、シーモールパレスにおいて一般社団法人梅光学院同窓会 第1回「会員の集い」が開催されました。120名の方にご参加いただき、和やかなひとときを過ごすことができました。

受付

お天気に恵まれたこの日、会場となったシーモールパレスに、たくさんの同窓生や恩師が集まってくださいました。



開会の辞

法人代表理事 会長挨拶
片山宣子 (高19大1日)

礼拝

司会の江原千花さん(高66 音38)による開会の辞に続いて、礼拝を行いました。

礼拝司会：藤原敦子さん(高25 大7 日院前2)

奏楽：杵築奈央さん(高66 音38)



礼拝司会の藤原敦子さん



司会の江原千花さん(左)と奏楽の杵築奈央さん(右)



任意団体「梅光学院同窓会」解散報告

「一般社団法人梅光学院同窓会」発足式



任意団体「梅光学院同窓会」の解散報告では、同窓会の歴史やこれまでの歩みをスライドで紹介しました。その後「一般社団法人梅光学院同窓会」の発足式を行い、設立時社員及び理事、監事の紹介を行いました。

講演

「梅光学院の周縁から普遍への更なる飛躍を ～その祈りを込めて味わい歌おう讃美歌の原詞を！～」

吉津成久先生(講演助手 渡邊晶子先生)

今回の講演では、ケルト系(スコットランド人とアイルランド人)作詞家による讃美歌の原詞についてお話をいただきました。またアコーディオンの弾き語りも披露してくださり、「Amazing Grace(アメイジング グレイス)」、「Danny Boy(ダニーボーイ)」、「What A Friend We Have In Jesus(いくつしみ深き)」を、参加者全員で原詞で歌いました。



吉津成久先生プロフィール

梅光学院大学名誉教授。1986年および1999年イアシル・ジャパン(国際アイルランド文学協会日本支部)国際大会において会場責任者として学会運営にあたる。1987年～1988年アイルランド国立大学の客員研究員。著書『二十世紀英文学の出発』、『アメリカ詩の原点』、『ジョイスからジョイスへ』など。

よさこい演舞

梅光学院大学よさこいダンス部『LUCIS』
OB・OGのメンバーによる華やかで力
強い演舞に、会場が盛り上がりました。



軽食をいただきながら
歓談タイム♪



ハンドベル演奏

中山 敦先生の指揮のもと梅光学院大学
ハンドベル部OB・OGグループ『Bell
felice』7名の方々による美しい演奏に、
みなさんうっとりと聴き入りました。



今年度担当学年幹事挨拶

来年度担当学年幹事紹介

今年度の担当学年幹事の中から大久保美帆さん(大日28)にご挨拶いただきました。

来年度の担当学年幹事は高46・高47・高48・短日30・短日31・短日32・短英31・短英32・短英33・大28・大29・大30の方々です。



校 歌

関門の空 高く輝きて
 梅花くすしく 匂えるところに
 み恵のつばさ 我等をはぐくみ
 み教えの光 我等を玉なし
 やがて世に勝たん 愛の旗かえる
 我等の母校は 山の上の城



閉会の辞



コロナ禍を経て久しぶりの同窓会の集いとなりましたが、多くみなさまにご参加いただきありがとうございました。また当日は運営費寄付にもご協力いただき、お礼申し上げます。集まった寄付は16万円余りでした。詳細は次号の同窓会誌に掲載いたします。次回の「会員の集い」は2024(令和6)年12月の予定です(詳細は16ページ)。たくさんの方々のご参加を、心よりお待ちしております！





松隈 協 かなう
関西学院高等部 宗教主事

いいものみつけた

「すべてを吟味して、良いものを大事にしてください。」(テサロニケの信徒への手紙－5章21節)

「良いものを大事にしてください。(新共同訳)」(テサロニケー5:21)は、スタジオジブリの作品「思い出のマーニー」の原作にも出てくる聖書箇所だ。新約聖書はもともとコイネー・ギリシア語という言語で書かれた。日本語訳にはさまざまな種類のものであって、新共同訳の他にも岩手県の大船渡の方言で訳されたケセン語訳やコテコテ大阪弁訳なんでものものもある。他の日本語訳の聖書では「大事にしてください」はどう訳されているか。岩波訳では、「保持してください」。尾山令仁訳、柳生直行訳、塚本虎二訳では「堅く、しっかり、守りなさい」。これらの訳の共通しているイメージは力強さだ。大事にすることは、強い思いですることであるし、強い思いがないとできない。興味深いのは、リビングバイブルの訳では、「大事にしてください」を「受け入れなさい」と訳していることだ。良いものを受け入れることは、一見、簡単なことに見えるが、実はなかなか難しい。それは「良いもの」とは、私にとっての良いものではなく、神様にとっての良いものだからだ。

私ども夫婦の趣味は雑貨屋巡り。下関を離れて15年、関西に来て良かったことのひとつは、大阪や神戸で、関西最大級の屋内型アート&ハンドメイドイベント「アート&てづくりバザール」に行けることだ。ここでは900名を超える作家・アーティストのオリジナルティあふれる作品の展示、販売が行われている。鞆、服、小物、陶器など、どのお店にも行列ができています。ふと見ると、静けさが保たれているお店がある。オアシスを求めるようにそのお店に行ってみると、そこは自費出版の絵本屋さん。スペイン人のDabizさんが迎えてくれた。そこでDabizさんご夫婦が描かれた「いいものみつけた」という絵本が目にとまった。

主人公は小さなアリたち。ある日、この小

さなアリたちが「いいもの」を見つける。それは、大きな棒つきの飴。小さなアリたちは自分たちの家までその飴を運ぼうとするのだが、カブトムシに取られそうになったり、大きな鳥に驚いたカブトムシが水たまりに落ちたりと、なかなか自分たちのものにならない。最後には人間が現れて、その飴を拾い、ビー玉ではないと遠くに投げ捨て、投げ捨てられた先ではまた別の人間に踏まれ、飴は粉々に割れてしまう。笑顔あふれるDabizさんとは、あまりにも対照的な無情さを感じながら読んでいた。しかし、次のページを開けると、そこには小さなアリたちの笑顔があった。小さなアリたちは、飴を粉々にされたのに笑顔なのだ。なぜか。それは人間に踏まれ、粉々になったことで、自分たちの家の中に運び込むことができたからだ。「いいもの」というものは、そのままの大きさや形では自分の心や体には入らないものらしい。

このことは、「良いものを大事にしてください」という聖書箇所につながる。良いものを受け入れることはなかなか難しい。しかし、小さなアリたちが「いいもの」をカブトムシに取られ、水たまりに落ち、人間に踏まれることで自分たちの家に運び込むことができたように、私たちも、神様に砕かれ、隣人に砕かれ、そして自分で砕くことによって受け入れることができるようになる。神様から与えられる良いものを大事にしていこう。受け入れていこう。

松隈 協

1968年生まれ。関西学院大学神学部、西南学院大学神学部専攻科卒業。教会牧師・幼稚園主事をスタートに学童保育指導員、梅光女学院中高宗教主任を経て、関西学院高等部宗教主事に就任。現在も安岡教会主任担任教師代務者。著書「もういいかい」「あなたに逢いたい」(日本キリスト教団出版局)

ご挨拶

新しい歩みの時



片山 宣子

代表理事(会長)

昨年11月1日付けで同窓会は、「一般社団法人梅光学院同窓会」として再スタートいたしました。大正4年に初めて同窓会という名称で発足し、100年余りの歴史を紡いできました。この一世紀の間、社会は発展し私たちを取り巻く環境も激変しました。

同窓会の目的である同窓生相互の交流、母校の発展・後輩たちへの支援は変わりませんが、今後の歴史のために、同窓会の組織を法人化することで、運営の円滑化を図る必要があると判断しました。社員が意見を出し、理事会が実務を事務局と共に執り行う。社員は2年ごとに公募する。このシステムで、より広い意見を集約したいと考えます。

この会誌に来期の社員募集の記事を掲載しています。社員総会は年に3回程度、開催は日曜日の午後です。ZOOMを使用したリモート参加もできます。今も台湾からの参加もあります。多くの方が同窓会活動にさまざまな意見や要望を届けてほしいと思います。それが次代に続く同窓会を創出することになります。

社員総会で来年度の「会員の集い」の在り方を考え、2024(令和6)年12月の第一日曜日にクリスマス礼拝と茶話会の形で開催することが決定されました。これも新たな挑戦です。

一般社団法人になり、組織の活動は広がりますが、一番必要なことは会員一人ひとりの協力です。みなさまにはいつも運営寄付ご協力をお願いしていますが、それと共に社員活動にもご参加をよろしく願います。

今、希望を胸に新たな一歩を共に踏み出しましょう。

「一般社団法人 梅光学院同窓会」のスタートを祝して



平良 美代
(元同窓会会長)



梶間真壽美
(元同窓会会長)



濱谷 静枝
(前同窓会会長)

『梅光女学院に赴任して最初の数ヵ月、何ともくつろいだ雰囲気再三強い感銘を受けました。教師と生徒の間にはお互いを思いやり尊敬しあう独特の関係がありました。教師たちにはクラス全体に、もちろん生徒一人ひとりを理解し尊重する気持ちがありました。梅光におけるこの独特な絆を、そこから生まれる称賛すべき雰囲気は開学以来、広津院長と教職員により創り出され、維持されたものであると私は思います。』(宣教師アリス・エルジンガー先生のことばより)

梅光で学び、卒業。同窓会の一員となっても梅光とのつながりは変わりません。それは「コール梅光、のテーマソングともいえる「光の子らしく」(作詞:コール梅光メンバーズ。作曲:音楽科卒 穴見めぐみ)の歌詞・曲に表されており、同窓生の母校への思いであり誇りであります。

下関開学108年を迎えた2022年11月、梅光学院同窓会は「任意団体」から「一般社団法人梅光学院同窓会」として独立。新しい歩みを始めました。ミッションスクール梅光学院の教育理念を基盤に培われた理念・信念は、そのまま同窓会に受け継がれており、名称の変更にかかわらず変わることはありません。今後も学院のため、学ぶ生徒・学生のため、同窓生のために光の子らしくよき歩みを続けるためです。

会員のみなさまは、任意団体から自動的に社団の会員に移行しました。今まで同様よろしくご支援ご協力をお願い申し上げます。

社団法人のスタートを祝してご挨拶申し上げますと共に、社員、理事のみなさまのご活躍と平安をお祈り申し上げます。

いま 恩師は現在



小山 禎子

(中高／数学・美術教員
1967年～2013年在職)

梅光の教職を離れて10年の月日が流れました。「日々新たなり」と思い、何かしら取り組んでみようと思いつつ過ごしてきた歳月でもありました。

取り組んだことのひとつ。運動神経は皆無と認めている私は、コミュニティクラブで体操とストレッチヨガに挑戦し、週2回汗を流すことにしました。体力維持はこの2つに頼っている次第です。他に合唱部に入って好きな歌を歌い、英会話の勉強も始めています。

また、絵画教室で水彩画を教えることになり、絵の好きな人をひとりでも増やしたいと頑張っています。

私にとって絵は高校時代の美術部での活動から始まり、もはや生涯の友とする営みになりました。現在、現代美術家協会「現展」、下関市美術協会、下関芸術文化懇親会の会員となり、油彩画を主とした作品展示を行っています。

ます。また、毎年個展の開催も続けており、今年は11月16日(木)～26日(日)に長府の「蛭遊苑」にて第19回「小山禎子 水彩・油彩画展」を開催いたします。

日々、自然の中に入り、花が咲けば優しいと思ひ、海辺では波と光のきらめき、林の中では木々のざわめきと草の薫りに触れる。描きたいと思ひ、筆を走らせる。そんなスケッチの日々の幸せを実感しています。



※小山先生の個展の詳細は、ホームページでご案内しております。



島田 裕子

(梅光学院短期大学・大学教授
1987年～2019年在職)

浅き夢

浅き夢はかなく醒めて早暁の
空に綾なす雲わたりゆく

浜木綿のま白き花のひらき初み
昏き海にじむ明けのひかりに

あら草をなぎ刈るごとく猛々し
ロシアの東に日本はあり

プーチンの孤独は深くシベリアに
埋もるる捕虜のおらぶソ連史

足りない武器が足りない結局は
軍事力なのか独立守るのは

浮き橋のかなたへ逝きてしまひけり
風たつまへに倉橋由美子は

長廊下はづみ駆けくる子犬の
足おと朝の慣ひとなりぬ

コロナの流行が始まったのは2019年末、ロシアがウクライナへ軍事侵攻したのは2022年春、私たちはその中で粘り強く平静な日常を守りながら生活をしてきたように思います。明日も家族の顔が見える、友達と何気ない話に笑いあう、それがとても貴重な時間だということを思い知らされました。そんな日々にとりとめなく浮かんだ思ひを詠んだものです。

卒業生の近況 ～梅光の思い出～

学ぶことの喜び

芳野(山下)仁子 (大日 25)

人生を変える言葉と出会ったあの時の光景を、今でも時々思い出します。それは入学式のことでした。佐藤学長先生がご挨拶の中で、私たち学生に質問されました。『文学とは、どんな学問か知っていますか』と。『文学とは、生きるとは何か、死とは何か、愛するとは何か、人間とは何か。そういうものを突き詰めていく学問なんだ』とおっしゃいました。私の中に衝撃が走りました。梅光学院に辿り着くまでの9年間、不登校だった私。学校は「行かなければならないところ」だと感じていた自分が、この日を境に一変しました。学生生活は、深い知識を手にし、探求という豊かな時間を旅する日々。学ぶことが、生きることそのものだった毎日を過ごした学生生活でした。

卒業後の私は今、自分が幼かった頃と同じ、不登校の子どもたちの居場所である、フリースクールを運営しています。子ども

たちが新しい発見や知識を手にした瞬間の目の輝きを見るのは格別の幸せです。どのような環境下でも、学ぶことの喜びを子どもたちに感じてほしい。梅光で学ばせていただいた私にできる、ちいさな種まきのような、充実した毎日です。

実は、私の中学時代の3年間を支えてくださった担任の先生が、梅光の大先輩であったことを知ったのは後のこと。私の中に連綿と受け継がれている梅光の精神は、今、目の前にいる子どもたちにも繋がっていくのかもしれない。そう思うと、現在を大切に紡いでいきたいと、思いを新たにしています。



伝統工芸に魅せられて

いちひめ
中村 一姫 (高 57)

私は現在、美容師をしながら伝統工芸赤間関硯の制作をしています。一年に数個ですが14年経ち、美容師の仕事は7年目になります。

進路を考えたとき、昔ながらの手仕事「ものづくり」に携わりたいという思いがあり、職人の世界に漠然とした憧れがありました。伝統工芸を知る機会があり、日本の美に衝撃を受け、手仕事や工芸への思いが募りました。工芸や芸術を学んでいない自分は、その思いを憧れで止めようとしたのですが、進路も定まらず目の前のことにも集中できなくなったとき、故郷下関の伝統工芸、山口県指定無形文化財赤間硯保持者の硯司である堀尾信夫先生を知り、ご指導をいただけることになりました。

大学で地質学を学んだことで石への親しみもあり、ご縁を感じ現在に至ります。技術や伝統を受け継ぎたいと、主に公募展へ

の出品をしております。硯制作を続けていくためにも仕事の軸を立てたいと思い、社会人からですが美容師免許を取得し、親族の美容室で働かせていただいています。日本の和の美に魅せられ、着付けの仕事にも興味があったので、着付けができる美容師をめざしております。

この度、先生や応援して下さる方々のおかげで、日本伝統工芸展(日本工芸会など主催)に4回目のチャレンジで初入選することができ、本当のスタートだと感じております。今年は特に、両立が大変なことをとて実感しましたが、仕事も硯制作もまだまだ半人前、マイペースですがどちらもがんばります！



第70回日本伝統工芸展(令和5年度) 入選作品

社員総会報告

◆ 2022年度 第1回社員総会 2022年11月26日(土)

【議案審議報告】

- 議案1 「2023年度会員の集い」の企画は、社員からの意見をもとに理事会が発案することを了承。
- 議案2 細則の変更は社員総会での承認が必要と確認。
- 議案3 「梅光学院同窓会教育基金」は規約が必要。理事会で文面を起案、社員総会で諮ることを確認。
- 議案4 社員の交通費は「JRの金額を基準とし、地方を区切らず片道2,000円以上は2割の補助とする」ことを決定。

◆ 2023年度 第1回社員総会 2023年4月30日(日)

【議案審議報告】

- 議案1・2 「令和4年度会計報告」「令和5年度会計予算案」を了承。
- 議案3 理事会から提示された「2023年度会員の集い」プログラム案は質疑・応答の後、了承。
- 議案4 「梅光学院同窓会教育基金」は、一般社団法人梅光学院同窓会が、申請者から申し込みを直接受ける型の奨学金制度を設けることが決定、継続審議。
- 議案5 ①理事のひとりから辞任の申し出があり、新たに立候補を募り、投票の結果、藤原敦子さんを選出。新理事に承認。
②学院との「建物使用貸借契約」について弁護士を通して交渉中であることの会長説明。

◆ 2023年度 第2回社員総会 2023年7月16日(日)

【議案審議報告】

- 議案1 先回の新理事決定を受け、理事会での役割を次のようにすることを社員総会の特別決議事項として諮り、社員の3分の2以上の賛同を得て承認。
副理事長／中田早苗 監事／藤原敦子
- 議案2 「2023年度会員の集い」参加者120名。参加者増加をめざすのが急務。
「2024年度会員の集い」は審議の結果、以下の日程・内容での開催予定を決定。
○日時：2024(令和6)年12月1日(日) 13:30～
○場所：シーモールパレス
○内容：クリスマス礼拝とお茶の会
- 議案3 同窓会としては学院ときちんと「建物使用貸借契約」を結ぶことが大切だと考え、現在も交渉中。会長から説明のあと、意見交換。交渉方針を社員総会で共有。
- 議案4 今年度発行の会誌に「第二期社員募集」を掲載し、社員選定準備委員会の発足は理事会に任せることを確認。

2022年度会計報告

2022.4.1~2023.3.31 合算(単位:円)

2022(令和4)年度10月末会計報告

(単位:円)

科目	2022年度予算	2022年10月末決算	差異
収入の部			
終身会費取崩し繰入収入	8,205,000	4,428,049	-3,776,951
入会金	40,000	2,000	-38,000
総会・懇親会費	0	-22,500	-22,500
受取利息	15,000	1,230	-13,770
施設利用料	10,000	0	-10,000
運営費収入	3,000,000	218,500	-2,781,500
雑収入	50,000	32,000	-18,000
収入計	11,320,000	4,659,279	-6,660,721
支出の部			
事務費	700,000	224,115	-475,885
事務手当費	1,600,000	692,770	-907,230
旅費	200,000	60,260	-139,740
通信費	3,500,000	1,711,730	-1,788,270
印刷費	3,400,000	1,197,357	-2,202,643
行事・集会費	300,000	334,700	34,700
交際慶弔費	200,000	21,780	-178,220
雑費	50,000	70,040	20,040
光熱水費	70,000	53,471	-16,529
リース費	200,000	113,056	-86,944
教育支援寄附金	200,000	0	-200,000
支部支援金	0	0	0
グッズ製作費	200,000	0	-200,000
支払報酬費	700,000	180,000	-520,000
支出計	11,320,000	4,659,279	-6,660,721

貸借対照表

現金	459,714	終身会費	71,221,240
預金	74,065,940	預り金終身会費積立金	3,304,414
	74,525,654		74,525,654

上記令和4(2022)年度10月末決算及び貸借対照表の会計監査に関して帳簿・証書類等を監査いたしました。記載事項は事実に基づいており適正であることを認めます。

同窓会代表人 梅尾登枝

2022(令和4)年度3月末会計報告 (2022.11月~2023.3月)

(単位:円)

科目	2022年度予算	2023年3月末決算	差異
収入の部			
終身会費取崩し繰入収入	8,205,000	5,545,052	-2,659,948
入会金	40,000	8,000	-32,000
総会・懇親会費	0	26,000	26,000
受取利息	15,000	43	-14,957
施設利用料	10,000	0	-10,000
運営費収入	3,000,000	645,400	-2,354,600
雑収入	50,000	0	-50,000
収入計	11,320,000	6,224,495	-5,095,505
支出の部			
消耗品費	700,000	228,558	-471,442
給料手当	1,600,000	735,770	-864,230
旅費	200,000	50,000	-150,000
通信費	3,500,000	1,785,971	-1,714,029
印刷費	3,400,000	2,491,166	-908,834
行事・集会費	300,000	1,250	-298,750
交際慶弔費	200,000	50,000	-150,000
修繕費	0	93,500	93,500
雑費	50,000	1,320	-48,680
光熱水費	70,000	0	-70,000
リース費	200,000	94,980	-105,020
租税公課	0	8,700	8,700
教育支援寄附金	200,000	0	-200,000
支部支援金	0	0	0
グッズ製作費	200,000	0	-200,000
支払報酬費	700,000	683,280	-16,720
支出計	11,320,000	6,224,495	-5,197,705

貸借対照表

現金	248,563	終身会費	65,716,188
預金	68,912,284	預り金終身会費積立金	3,294,334
		未払金	150,325
	69,160,847		69,160,847

上記令和4(2022)年度3月末決算及び貸借対照表の会計監査に関して帳簿・証書類等を監査いたしました。記載事項は事実に基づいており適正であることを認めます。

同窓会代表人 中田早苗

切り取って
ご使用ください。



キリトリ線

同窓会の活動や同窓会誌について ご意見・ご要望をお寄せください

- 今後の同窓会について期待したいこと
 - 各地域の同窓会活動について知りたい
 - 同窓会誌にこんな情報を載せてほしい など、
- 会員のみなさまのさまざまなご意見やご要望をぜひお寄せください。

〈送付方法〉

※裏面の記入用紙にお名前(旧姓)、卒業回数、ご住所、ご意見をご記入の上、点線に沿って切り取り、はがき(官製・私製どちらも可)に貼りつけて事務局宛にお送りください。(宛名も切り取ってご利用いただけます)

※卒業回数例 大学日本文学科10回 → 大日10
高校22回 → 高22

※郵送料は各自ご負担ください。

意見ご記入欄は裏面です。

社員募集！

同窓会を楽しく一緒に盛り上げていきたい！
 こんな同窓会にしたい！
 そんな意欲のある方、ぜひお力をお貸しください。

- 募集人数 15名
- 任期 2024年4月1日～2026年3月31日
 (1期2年、3期まで継続可)
 ※社員総会はリモートでの参加も可能です！

公募締切 2023年12月15日(金)

自薦、他薦を問いません。立候補してくださる方は、
 同窓会事務局までメールまたは郵便でお申し出ください。
 お申し出のあった方には、手続きに必要な書類を改めて送付いたします。
 少しでも興味を持たれたあなた！あなたをお待ちしています。

メールアドレス / info@baiko.net
 〒750-8511 下関市向洋町1-1-1

支部紹介

同窓会では、東京・関西・下関・北九州・福岡・長崎に支部があります。
 お近くの支部の活動にぜひご参加ください。新支部立ち上げもご相談ください。
 今後『支部だより』はホームページに掲載していきます。

東京支部
 北九州支部

関西支部
 福岡支部

下関支部
 長崎支部

ホームページ
<https://baiko.net>



同窓会活動についてのご意見・ご要望

お名前	旧姓 ()	卒業回数
ご住所 〒 -		
ご意見		

宛先として
 ご利用ください

〒750-8511
 山口県下関市向洋町1-1-1
 一般社団法人
 梅光学院同窓会事務局 行

キリトリ線

梅光メモリアルデー

7月4日(火)、2023年度梅光メモリアルデーが開催されました。

今年は日本キリスト教団下関教会の小松理之牧師のお話を伺い、故教職員・同窓生の御霊の平安を祈る礼拝を行いました。

「休ませてあげよう」

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」私たちの造り主であり、救い主であるイエスは、私たちにこう呼びかけ、「わたしのもと」である教会に招いておられるのです。

主であるイエスは世をご覧になり、世に住まう私たちが全く休めないでいて、疲れ果てている有り様をつぶさに見て取っていたのです。「疲れた者」(“コピオーンテス”)とは、“力を要する働きをし、その結果として弱り果てる”状態(織田昭、『新約聖書 ギリシャ語小辞典』教文館、2002年。以下『辞典』と言う)です。「重荷を負う者」とは、“罪という重い荷を背負わされている状態”のことです。自分で背負いたくて背負っているではありません。これを“背負わされている”のです。“罪”とは“愛を損ねている状態”であり、これが私たちにとって最大の「重荷」で、これを自分で取り除くことができないでいるのです。主であるイエスは、このような私たちをご自分の御もとに招いておられるのです。私たちを、主であるイエスの愛で満たし、聖霊と神の言葉によって、私たちの命を根源的に回復させるために。

主であるイエスが「休ませてあげよう」と言われたこの言葉は“アナパウシス”という言葉で、“労働の一時的停止による休息”(『辞典』)です。そしてまた、“休息”という言葉には、この他、カタパウシスという言葉があります。カタパウシスは“単なる休止、停止以上に完了・完成から来る休息”(『辞典』)です。“完了・完成”とは、“神の安息にあずかっている”状態を表しているのです。この“神の安息”は、神の愛に満たされ、死の不安や恐れが一切、支配していないところにある“真の平和”であり、この“平和”をもたらすために、主であるイエスは天の御父から世に遣わされたのです。神の国であり、主であるイエスはご自身の十字架における死によって、死の力を根源的に滅ぼし尽くしてこれを成し遂げたのです。そして、死者の中から三日目によみがえり、完全に死に打ち勝ったのです。

主に結ばれて、天に召されたこれらの方々皆、この神の国をこだましている教会の民たちとし



日本キリスト教団下関教会 小松 理之

て“アナパウシス”そして“カタパウシス”にあずかりながら、信仰によって世の旅路を歩み抜いた方々です。主であるイエスが出会い、罪を赦されて永遠の命を約束された方々です。今や、主の全き平安の中にいます。かの日、主であるイエスが「大いなる力と栄光を帯びて」(マタイによる福音書 24:30)再臨される時、これらの方々が御父の御前で、主であるイエスに完全に執り成され、主の「栄光ある体と同じ形」(フィリピの信徒への手紙 3:21)になってよみがえることを信じます。私たちはこれらの方々に再びお会いできることを信じ、その日が来るのを楽しみに待ち望みます。

(聖書の言葉は『聖書 新共同訳 日本聖書協会』1992年による)

2024年度

梅光メモリアルデーのご案内

日時／2024年7月4日(木)

午前10時より

場所／下関市生涯学習プラザ DREAM SHIP
2階「宙のホール」(多目的ホール)

みなさまのご参加をお待ちしております。

※平服で結構です。

メモリアルデーのはじまり

梅光女学院を戦災から復興させ、幼稚園から大学院まで堅実な校風を築かれた第5代学院長 広津信二郎先生は、梅光に52年間奉職され2000年7月4日、93歳で永眠されました。そして、その2日後の7月6日に宣教師・第4代学院長・初代園長 バージニア・マッケンジー先生が107歳で永眠されました。マッケンジー先生もまた、戦後からの復興発展にご尽力くださった先生です。

メモリアルデーはおふたりの先生を偲び、全生涯を梅光のために捧げてくださったことを忘れてはならないと同窓会がスタートさせたものです。梅光に奉職された教職員・同窓生を追悼し、感謝する日であり、学院の発展を祈念する会となっています。

2022年度運営費寄付者名



(2022年4月1日～
2023年3月31日までの受付)
単位：千円

みなさまのご支援に心より感謝申し上げます。

合計 863,900円

旧職	巻幡清子	3	高14	岡崎郁子(西川)	3	短英1	高橋みどり(力丸)	3
旧職	斎藤直而	3	高15	浴本泰子(藤山)【故】	3	短日1	井上聡子	3
旧職	小山禎子	3	高15	有富洋子(村上)	3	短日1	谷川百枝(山本)	3
旧職	中野節子	3	高16	新納郁江(五島)	3	短日2	畠中節子(中島)	10
旧職	平野 清	3	高17	田中展子(石田)	3	短英4	福田裕子(中村)	15
梅31B	阿部敬子(富田)	3	高17	斉藤静江(寺下)	3	短英4	大野美加子(益森)	3
梅31B	中野静江	3	高17	齊藤香子(堀越)	3	短日5	大西恵子	6
中3	福田雅子(大社)	3	高18	森本トヨ子(岡村)	3	短日6	島田好子(古賀)	3
中11	岩田美代子(石川)	10	高19	田淵れい子(石若)	3	短英8	三吉由紀子(南)【故】	100
高2	岡田佳津(原田)	3	高19	河崎百合子(坂本)	3	短日8	榎崎美佐子(松本)	3
高2	小須田玲子(藤津)	3	高19	松田ちづこ(山中)	3	短日8	宮崎悦子(渡辺)	3
高3	堀百合子(後藤)	6	高20	笹倉せつ子(小幡)	3	短日11	羽仁芳子(古本)	3
高5	三代 緑(一色)	3	高21	金沢寿栄子(富下)	3	短英13	大長美子(長尾)	3
高5	小川和子(稲田)	3	高22	橋本淑恵(木村)	3	短日13	田中恵美子(田中)	3
高6	中道美奈子(上田)	3	高22	池田美枝(佐藤)	9	短日15	谷田ゆかり(長岡)	10
高6	塩原栄子(川崎)	3	高23	中尾和子	3	短英19	松本陽子	3
高6	中本光子(樋口)	3	高24	村田小夜子(今橋)	3	短英20	井上悦子	3
高7	中田百合恵(安部)	3	高25	吉田眞子(藤田)	4.5	短英22	杉山恵子(久保)	3
高7	短田富久枝(大西)	3	高25	岩本道子(前田)	30	短日22	古谷かおり	6
高7	斎木洋子(岡崎)	3	高26	砂田みどり(佐竹)	3	短コ2日	中村容子	3
高7	中野由己子(高橋)	3	高26	片山香苗(清水)	30	大1日	梅尾澄枝(秋本)	3
高7	曾田邦子(馬場)	3	高26	井上富美穂(下村)	3	大1日	片山宣子(清川)	30
高7	行村君子(村岡)	3	高27	鈴木智子(柳井)	3	大1英	宝辺静子(久保)	3
高9	小園美智子(池田)	3	高27	横田のぞみ(山中)	3	大1英	徳永春子(楨本)	3
高9	久保孝子(伊田)	3	高27	吉村弓子	3	大3英	松井孝子	3
高9	安藤清子(菊谷)	3	高28	中田早苗	3	大4日	志保みはる	3
高9	森田公子(野間)	3	高29	佐藤久美(林)	3	大5日	末武伸子(藤井)	10
高10	伊田美智子	3	高32	岩男晶子(鍋島)	20	大5英	常盤恵子(木下)	3
高10	浜谷静枝	50	高33	西田ナギサ(田中)	3	大6日	平川典子(神峯)	3
高11	森田朋子(岡崎)	3	高35	西頭加織	3	大6英	藤川育子(吉牟田)	3
高11	堀内紀代子(立石)	3	高35音	大塚真理子(榎田)	3	大7英	香月順子	50
高11	桐村亘子(松田)	3	高38	稲岡昭子(黒瀬)	3	大7英	磯谷由美(林)	10
高13	青木禮子(青木)	6	高41	櫻井敬子	3	大日8	山脇計恵(中西)	3
高13	権藤市津代(木村)	3	高43	植田みどり(梶間)	6	大日9	富田栄子(國米)	9
高13	武内信恵(武内)	3	高43音	高橋美絵(松岡)	3	大10日	江藤京子(伊藤)	3
高13	赤城晴美(藤井)	3	高61音	田村初音	3	大10日	若山邦美(榎)	3
高14	山下雅子(奥田)	6	高66音	江原千花	6	大11英	龍崎美香(龍崎)	10
高14	白須美砂子	10	短英1	野村佐登美(郷)	6	大12英	林田恭子	3

大13日	三浦美香子(武石)	3
大15日	中嶋まどか(二田水)	3
大16日	野見山百葉(末松)	3
大16日	植月明美(山下)	6
大16日	小川滋子(山本)	10
大18日	稲見みぎわ(大藪)	3
大18語	江後紀久子	3
大18語	河野行子(藤田)	6
大19日	荒木倫子(三村)	3
大19語	畠中由紀(伊藤)	3
大22日	秋山和代(酒見)	9
大22日	山本朋子(原田)	3
大23日	加藤直子(井原)	3
大24英	藤村香子(岡井)	3
大28英	池田美知子	3
大32語	松尾里江子	3
大40英	垣田幸代	3
大43日	岩田英子	3
院前日2	澤田雅子(北村)	3
院前日2	藤原敦子(三浦)	10
院前日3	林田千恵子(篤)	3
院前日5	大塚順子(木下)	9
院前英7	廣岡淳子(中村)	3
院前日10	澤山淑子	3
院前日15	久保田智栄子(今井)	3
院前英15	平中美砂(野原)	3
院後日8	那須 香(那須)	3
博士	野口有紀子(濱田)	3
博士日	鐘 俊梅	9
	匿名	7.4
	匿名	2

2022年4月から2023年3月までの物故者名簿

(同窓会事務局にお知らせがあった方)

御霊のうえに、そしてご遺族のうえに神さまのお慰めがありますように。

旧職	白沢千枝子	2021.11.4	高9	太田淑子(熊野)	2022
旧職	江澤即心	2022.2	高10	中川泰子	2022.12.31
旧職	久木田 益	2022.9.19	高11	那須宮子(橋元)	2021
旧職	畠中 弘	2022.10.14	高12	角谷雅江(亀田)	2019.11.23
旧職	新村君子	2022.10.18	高13	中村都子(藤津)	2021
旧職	松野榮三	2022	高13	矢口靖子(滝本)	2022.11.17
梅23	里見光子(藤田)	逝去日不明	高14	山本照子(竹之内)	2022.8.12
梅23	今橋静子	2022.6.18	高14	岩本三弥子(安達)	2022.6.28
梅23	楢原万里子(原田)	2021.1.9	高15	浴本泰子(藤山)	2022.10.10
梅24	益田ヒデ子(小畑)	逝去日不明	高16	戸津川 梢(井上)	2022.12.30
梅24	高木由紀江	2019.12.10	高20	水谷真知子(三好)	2022.8.29
梅29	若林智江(斉藤)	2021.11	高20	棚町廣子(岸田)	2020.11.9
梅30	牛窪和子(横田)	2021.12.13	高21	木下道子	2022.4
梅33	川本美知江(古家)	2022.1.21	高26	倉光径子	2022.1.4
梅31B	栗田靖子(中林)	逝去日不明	高38	蓮尾芳恵(渡利)	2022.9.12
梅33	多田倭香子(今井)	2019	高62英	筑紫ちなみ	2021
梅34	福田百合子(山本)	2022.7.3	短英3	雑賀洋子	2021
梅35	西田玲子(浜脇)	2022.8	短英4	KAYO HENNESSEY(印藤)	逝去日不明
高1	川西政子(安心院)	2022.11.1	短英8	三吉由紀子(南)	2021.12.28
高3	西田久寿世(日高)	2021.12.21	短英8(高24)	佐藤敬子(堀川)	2022.12.9
高3	上河内照子	2023.3.25	短英16(高31)	佐藤尚子(岡本)	逝去日不明
高3	山本容子(米田)	2022.6.24	短英19	松本陽子	2021.10.2
高4	戸井志津子(岩田)	2022.7	大2日	脇坂節子(古田)	2021.7
高5	小野華子(吉村)	2022.3.27	大3英	山本洋子(湊)	2022.7
高6	田中和喜子(坂本)	2021.11	大5英(短英8)	藤津順子(山路)	逝去日不明
高6	中山光世(高橋)	2022.3.25	大6英	宮本淳子	2022.10.28
高7	岡野信子(豊田)	2022.5.31	大15日	小野理香(大浜)	2021.12
高7	塩崎洋子(三好)	2022.8.14	大17日	松野尾 聖(実崎)	2022.2
高8	有松尚美(河野)	2022.6	会友	唐島敦子(園山)	2018
高8	住田愛子(関野)	2022.4.19	会友	伏脇寿美子(中川)	逝去日不明

2022年度梅光学院高等学校卒業式が挙行

セーラー服を着用した最後の学年が巣立って行きました



2023年3月6日(月)、丸山校地で高等学校の卒業礼拝が実施されました。コロナ禍で高校生活を送った56名の生徒たち。セーラー服と紺色の男子制服も最後となりました。



卒業生総数

梅香崎	150
光 城	80
梅光(旧制)	2,413
高・中	13,846
短 大	13,996
大学・大学院	10,720
計	41,205
2023年3月31日現在	

2024年度 一般社団法人梅光学院同窓会 第2回「会員の集い」のご案内

2024(令和6)年12月1日(日)

場所／シーモールパレス

会費／2,000円

受付／12:30～

開会／13:30～

2024年度の「会員の集い」は、
クリスマス礼拝と茶話会の
形で開催します。

みなさまのご参加を
お待ちしております！



※プログラムの詳細や申し込み方法については追ってホームページにてご連絡いたします。

同窓会運営費寄付のお願い

毎年、運営費寄付にご協力いただきありがとうございます。

現在、同窓会員の増加を図ることが難しく、会費徴収がかつてのようにはできません。コロナ禍では同窓会入会を呼びかける新入会員歓迎会礼拝も実施できず、現在は卒業式当日に書面で呼びかけることを続けています。しかし入会の希望者はごくわずかです。

同窓会は運営費寄付と会費収入で活動しています。値上がりのニュースが毎日のように続く昨今ですが、1000円からの寄付も受け付けています。同封の振込用紙で振り込みできます。また、同封用紙なしでも随時ゆうちょ銀行からの振り込みもできます。

みなさまのご協力を心よりお願いいたします。

【お振込み先】

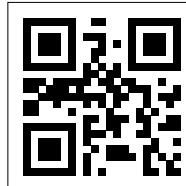
一般社団法人梅光学院同窓会
郵便局振替口座記号番号
01520-6-13100

編集後記

- ◆一般社団法人梅光学院同窓会の会誌 第1号を発行します。今日までの経緯を振り返り、会員のみなさまに感謝申し上げ、共に喜びたいと思います。
- ◆任意団体梅光学院同窓会誌「梅光」は54号まで続き、学院と共に歩み、確かな証言者の役割を果たし、歴史を紡ぎ終了しました。新しい一般社団法人の同窓会誌は、その精神を受け継ぐべく会誌名「梅光」を継承しました。通信手段が時代と共に変化していますので、同窓会ホームページと補い合せて歴史を作り出していきたく考えています。
- ◆会員のみなさまが読みやすく、楽しめるようカラー印刷を採用しました。また、広く会員の意見を求める試み(意見欄の作成)も開始しました。
- ◆会員のみなさまと一緒に会誌を育てていくことを目標にしていますので、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

2023(令和5)年10月31日発行
一般社団法人梅光学院同窓会
〒750-8511 下関市向洋町1-1-1
TEL. 083-227-1111
編集発行人 片山宣子
E-mail: info@baiko.net
印刷 株式会社三和印刷社
〒752-0927 下関市長府扇町9-1

同窓会事務局開室
毎週火・金
13:00～16:00



ホームページ
<https://baiko.net>